

< 目 次 >

- 1 【 実践事例 】 矢巾町立矢巾東小学校（矢巾町）
 《いわて型コミュニティ・スクール推進フォーラム 発表事例》
 - 2 【 家庭学習 】 来年は、中学生の読書推進を
 - 3 【 教振は今 】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 4 【 編集後記 】 あつしのひとりごと
-

- 1 【 実践事例 】 矢巾町立矢巾東小学校（矢巾町）
 《いわて型コミュニティ・スクール推進フォーラム 発表事例》

矢巾東小学校では、学校経営計画や「まなびフェスト」を教育振興運動振興区総会で説明し、学校教育目標の具現化を図る経営方策として、教育振興運動と連携して、学校・家庭・地域との連携・協働を意図的・計画的に進めています。また、教育振興運動の「読書活動の推進」をPTA教養部が中心となって取り組み、その成果を教育振興運動集約集会等に展示し、児童・保護者・地域の方々に見ていただいています。

事例は⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_yahabahigashi.pdf

- 2 【 読書推進 】 来年は、中学生の読書推進を

1位「うんこ」（文；サトシン、絵；西村敏雄、文溪堂）、2位「もぐらバス」（原案；佐藤雅彦、文・絵；うちのますみ、偕成社、）、3位「だじゃれ日本一周」（作；長谷川義文、理論社）。

絵本の雑誌「月刊MOE（モエ）」[白泉社]が、全国の絵本専門店と書店の児童書売り場担当者 1000 人へのアンケートを基に選んだ「第 3 回MOE絵本屋さん大賞」の受賞作品です。本の世界も「不易と流行」。読み継がれる名作は大切にしたいところですが、新しい感性もまた捨てがたいものです。

これは絵本に限ったことではありません。今、県教育委員会では「いわての中高生のためのおすすめ図書 100 選（愛称；「いわ 100」[いわひゃく]）」というブックリストを作成しています。今年度中に、県内すべての中学生・高校生に 1 冊ずつ配布し、読書に親しんでもらいたいと考えています。

この 100 冊を選ぶにあたっては、12 名の中・高校生の皆さんからも同世代視点で「おすすめ図書」を選んでもらったり、県内中学校・高等学校から寄せられた「おすすめ図書ベスト 3」のアンケート集計結果を盛り込んだりしています。そこには、「流行」の部分も多く入っています。

市町村立図書館や学校図書室では、中高生が、この「いわ 100」を参考に、興味を持った本を手にすることができるよう、図書をそろえていただきたいところでは。

このブックリスト作成の取組は、奥州市の読書ボランティアによる市内中学校への読み聞かせの取組とともに、教育振興運動「実践の 3 年」集約県大会において紹介されました。その紹介についての参加者の感想を紹介します。

- ・ブックリストが全中高生に配布されるとのことですので、子どもが持ってくるのを親としても今から楽しみにしています。
- ・小学生のみならず、中高生へ広がりを見せる読書活動、この取組が全県で行われることを強く望みます。
- ・中学生への読み聞かせにも読書ボランティアが関わっていることを知り、驚き、感動しました。
- ・読み聞かせをした読書ボランティアと中学生の心の交流を見ることが出来て良かった。温かい気持ちになった。
- ・中高生のためのブックリストの作成や中学生への読み聞かせといった取組があったことを初めて知りました。

未就学児や小学生に対する読書の取組は盛んに行われており、その成果は読書状況調査の結果にも確実に表れています。中学生の「読書活動の推進」に取り組むために、2～3月のうちに実態を把握し、学校・家庭・地域の連携による解決方策を検討しておきたいものです。

読書ボランティアによる中学生への読み聞かせやブックスタートは、有効な手段です。取組の詳細は、奥州市教育委員会に問い合わせてください。

3【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(教ちゃん)「実践の 3 年」集約県大会には、400 人というたくさんの皆さまに集まっただけ、本当にありがとうございました。

(振ちゃん) 見て、見て。アンケートの結果がまとまったよ！

(教ちゃん) すご〜い！参加者の 96%が、実践事例の発表を高く評価しているわね。やっぱり、実態把握を踏まえてねらいを設定し、5 者の役割分担を明確にしながら、通年の取組をおこない、その成果である子どもたちの変化をデータで示すという「PDCA サイクル」や「見える化」を図った発表で、わかりやすかったものね。

(振ちゃん) うん。今回は「家庭学習の充実」についての発表だったけど、「教育振興運動の取組の流れ」をきちんと提示してくれたと思うんだ。

(教ちゃん) そうね。他の課題であっても、取組の流れや評価の仕方は同様にできるものね。それに、今回の発表のように、子どもや大人の変化の様子を数字で表してみると「運動の成果を実感」できるわ。

(振ちゃん) それとね。僕、声を大きくして言いたいことがあるんだ。

- (教ちゃん) どうしたの？振ちゃん。目が血走ってるよ。
- (振ちゃん) 東成瀬村教育委員会の鶴飼教育長の講話は、アンケートに答えていただいた皆さん全員が「良かった」と回答していました。もちろん、教育長の教育に対する熱い思いを感じたし、その思いが小中学校の校長先生とも一致していて、素晴らしいと思ったけど、特別なことをしているわけではないと思うんだ。
- (教ちゃん) うん、うん。
- (振ちゃん) だから、岩手県でも、5者が思いをひとつにして、表裏一体の関係である「教育振興運動」と「いわて型コミュニティ・スクール」に取り組んでいけばいい……。そう確信したんだ。
- (教ちゃん) そうよ。バラバラじゃダメよね。思いをひとつにするには、5者が集まって、どうすべきかを話し合わない……。
- (振ちゃん) 「子どもたちにとって本当に必要なことは何かを話し合わないで、活動内容が決まっている」という傾向が、各地区の教育振興運動にないだろうか。強いて言えば、秋田県と岩手県の差はそこから来ているように思うんだ。

4【編集後記】あつしのひとりごと

あたたかい人の情けに 胸をうつ熱い涙も
知らないで育った 僕はみなし児さ
強ければそれでいいんだ 力さえあればいいんだ
ひねくれて星をにらんだ 僕なのさ
ああ だけど そんな僕でも あの子らは慕ってくれる
それだから みんなの幸せ 祈るのさ
(アニメ「タイガーマスク」のエンディングテーマ；みなし児のバラード)

謎の覆面レスラー タイガーマスクこと「伊達直人」は、自分が育った児童施設の子どもたちに善意の寄付をし、また応援をしてくれる子どもたちのために、反則を使わず正々堂々と悪役レスラーと戦います。昨年より、アニメのタイガーマスク同様の善意が「伊達直人」の名のもと、全国に広まりました。

実は匿名による寄付は、各地で続けられていました。栃木県では同一人物と思われる筆跡で「恵まれない人のために使ってください」との手紙とともに、1974年から毎月現金が届いており、これまでに436回を数え、総額は200万円を超えているといいます。

また、愛知県名古屋市の授産施設では、1990年より毎月20万円が口座に振り込まれ、20年間で2500万円を超えているとのこと。大阪府でも1970年から寄付が続き、40年間で736万円に達した事例があるとのこと。

日本には、古くから「結」や助け合いの精神があるのだと思います。子どもたちを思う気持ちや善意の気持ちを大人が示す、一時のことで終わらないで欲しいと思います。

それにしても、このタイガーマスクのエンディングテーマは、ルパン三世や宇宙戦艦ヤマトと並ぶアニメのエンディングテーマ3大名曲のひとつではないでしょうか。泣ける歌です。

⇒ 第39号は、2月22日（火）配信です。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

★平成21年度配信のバックナンバー（第1～17号）はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index5.html>

★平成22年度配信のバックナンバー（第18～37号）はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index8.html>

★平成21年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index3.html>

★平成22年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index6.html>

～～～配信元～～～

* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気あなたから作りだしてください。

～～～